

「前むきにがんばる一年」

五年 竹下月菜

(中野美保二)

私は今年の四月から六年生になります。一年生の時からチャダンスと茶道をやっています。

茶道では川と文化祭でお手まえをひろうしたり、チャダンスではステージで笑顔でとても楽しくおどっています。去年は、コロナウイルスのえいきょうで練習はできたけど、お客さんの前でお手まえをしたり練習した曲を発表することはできなかった。今年もステージで練習した曲を思いっきりお客さんの前でおどりたいです。

また学校では、下級生のお手本になってみんなを引っばっていくそんざいになりたいです。あいさつや交通安全なども下級生のお手本となる行動をして、地域の方々に「今年の六年生はすごい、たのしい」と言ってもらえるようにがんばります。題名でも書いたように、何にでもチャレンジする一年にしたいです。

そして、今年も家族みんながをせず、笑顔あふれる一年にしていきたいです。



「抱負を掲げないという抱負」

稲垣杏太 (武志タウン)



おかげさまで、今年三十六歳になる年を迎えることができました。生み育ててくれた両親、日々支えてくれる妻、いつも生きる活力をくれる子どもたちに感謝します。ありがとう。これまでの三十五年間を振り返ると、何か節目を迎えるたびにいろんな抱負を掲げてきました。「今年はこの挑戦しよう!」「三十歳になったんだからこれを勉強しよう!」「みたい。節目に始めたことは、気持ち引き締まってる。いつか数日は続きます。でも、いつしか日常に戻ってきて、いつしか続かなくなる。この繰り返しを三十五年間続けてきました。しかし最近ようやく気づいたことがあります。それは『節目に掲げた抱負ほど重要性の低い抱負はない』ということ。これは抱負を掲げること否定しているわけではありませんが、抱負を掲げるとは重要だし、新しい挑戦は必ず次につながるので、とても素晴らしいことだと思います。

私が言いたいことは、節目でもそうではなくても新たに始めたことは素晴らしいし、継続できることは今の自分にとって重要かつ価値があることで、続かないことはそうではなかっただけだということです。とりわけ移り変わりが早い現代においては節目がどこにあるのかわかりません。気づけばインターネットで世界がつながり、いつしかみんながスマホを使いこなし、娯楽も仕事もするようになりました。スマホで買いたい物もしています。遊びも仕事も生活様式も変わり、コロナの影響もあってこれからはこの変化がさらに加速すると考えられます。自分の仕事だって今後どのようになるのかわかりません。

そんな現代を生き抜く上で、私としてはこれからも節目を設けず、『今』の自分にとって価値があり、『今』本当に重要だと思つことを日々選択し実行し続けようと思います。

あえて抱負を掲げるとすれば『健康に過ごすこと』でしょうか。適度に運動し、適度に学び、思いっきり遊び、細く長く楽しく生きていきたいなと思います。

「新しい年を迎えて思うこと」

荒木久美子 (武志第三)



新年あけましておめでとございます。昨年とは新型コロナウイルス感染症により、世界中がつかつてないほどの危機に見舞われた一年でした。一日も早く収束し落ち着いた生活が送れる事を願うばかりです。そのような中で無事に六度目の五年を迎えられたことを心から喜ばしく思います。

私は今までざつくりとした人生設計を描いてきました。二十五歳までに結婚する。三十歳までに二人の子供を授かる。三十五歳までにはマイホームを持つ。六十歳までは仕事中心に頑張る。六十歳を過ぎたら仕事をしながら趣味やボランティア活動も増やし充実した日々を送る。できれば七十歳までは仕事を長く続ける等々。

昨年三月に長い間続けてきた看護師・ケアマネジャーの仕事にピリオドをつけました。元気で無事に目標達成することができたことに幸せと感謝の気持ちでいっぱいでした。これからの人生は今までの生活を見直し、今までできなかったことや、やり残した事などをゆつくり余裕を持って歩みたいと思っています。四人の孫達の成長を一番の楽しみとし、元気に年を重ね、『かわいいおばあちゃん』であることが目標です。

さて、川跡にマイホームを持って早くも三十七年目に入ります。私の人生で一番長くなりました。他の地域の人々から「川跡は色々な活動が盛んですよね」と耳にすることが増えています。本当に様々な事業や行事・サークル活動などが活発に展開されています。

私は七年前から川跡地区の健康づくり推進員をしています。地区担当の保健師さんの指導の下で健康づくりに関する活動や支援を行っています。健康教室などを開催した場合、どうしても女性が多いことから男性だけの教室(いきいきアップ健康教室)を三年前に立ち上げました。週2回皆さん笑顔で楽しく参加されています。他には、健康スポーツ部やまめな会に席を置き微力ながら健康増進・健康長寿目指して取り組んでいます。

数年後には出雲市新体育館が、鳥根県立大学隣接地に建設予定であり、とても楽しみにしています。それに伴い一畑電車川跡駅周辺も賑わうことでしょう。又、斐伊川河川敷公園を有効利用することで世代を超えて楽しく健康づくりできる環境が整います。最後に川跡地域の益々の発展と皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。